

本気・信念・誠実を大切に

株式会社 中村防災サービス
代表取締役社長 中村 彰宏さん(59歳)

創業して22年目、警察や消防が使用する専門の道具や防災用品の販売、消防設備の点検を行っています。人の命に関わるサービスを取り扱うからこそ、本気・信念・誠実が大切。現場・時代に合った物を提供し、よりよい対応をモットーにしています。

春の里オープン前の消防設備の設置工事から現在まで、町内にあるJAの旧支所の点検も20年以上行っています。町内の教育施設で防災についての講演をするなど、子ども達にも自助・共助・公助の考えを伝え、災害に備える意識を持ってもらうための活動もしています。

趣味は旅行。九州のおだやかな風景と温泉、とてもおすすめです。

仁ノより



会社の行動指針は「Hit the ground running」(使命を課せられたらすぐ動けます)です!



会社のホームページはこちらから!

とさのさとより



「おいしかった」が一番の励み

河村かまぼこ店
河村 るいさん(62歳)

かまぼこ店4代目の主人と結婚し、かまぼこを作り続けて37年目です。とさのさとには12種類の天ぷら・かまぼこをリニューアルオープンから出荷していて、売れ筋は「野菜天」と「スタミナ天」です。すり身の素材や作り方、焼き方なども先代から受け継ぎ、変わらない味をこれからも作り続けていきたいと思っています。出荷の際に、お客様に「おいしかった」と言われることが一番の励みです。

休みの日は、相撲をしている孫の応援に行っています。一生懸命頑張っている愛らしい姿を、スマホにばっちり収めています。

高知 地区から こんにちは

春の里より



農と芸 地芝居の後継者を育成

楠永 芳奈子さん(42歳)

大学卒業後、高知市無形民俗文化財「西畑デコ芝居」の匠の技術や義太夫節に出会い魅了され、実家の農業に従事しながら保存会の活動を始めました。現在は義太夫語りの竹本美園先生、邦楽囃子方の望月左喜三郎先生に師事しながら、保存会で和楽器演奏の講師を務め、後継者育成に力を入れています。

今年から自分でダイコンや干しダイコンを作り、出荷しています。今後出荷できる野菜の種類が増やせるように勉強中です。土や風、自然たちの声を感じ仕事ができる農業が大好きです。水引を使ったしおりや指輪などの雑貨も出荷しています。

今年は7/19(土) 17時頃～岐様夏祭りです。西畑人形芝居保存会30周年記念にあたります。ぜひ見に来てください。

弘岡下より



「やってみなきゃ分らない」精神で

前田 美子さん(73歳)

弘岡下の女性部に入って約30年、焼肉のタレ・こんにゃく・みそ造りや1日研修、コインランドリーの掃除などに参加しています。部員のみならず和気あいあいと話すことが活動の楽しみです。

平成13年に食品衛生の資格を取り、自宅の納屋の一角を加工場に改築しました。餅や水ようかん、パン、漬物などの加工品を出荷しています。漬物は、主人が栽培した季節の野菜を使い、丁寧に手入れしたぬか床でこだわって作っています。手伝ってくれる家族やアルバイトの方々に感謝して「やってみなきゃ分らない」精神で何事にも取り組み、生涯現役で加工品作りを続けたいです。

できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



集出荷場を見学する北見市の学生ら 写真⑤

1 高知地区 北見市の学生が 春野集出荷場を見学

春野営農経済センターは1月9日、高知市の姉妹都市である北海道北見市から訪れた北見工業高等学校と北見緑陵高等学校の学生3人と、JAきたみらい、北見市農林水産部の職員らの見学を受け入れました。キュウリ選果場の見学や産地の特徴、ハウス栽培の歴史を説明した他、新規就農者確保の取り組みなどについて質疑応答も行いました。

北見市農業振興会議北見自治区部会が1月7日から10日までの4日間、高知市で「北見市未来の農業担い手育成事業インターンシップ事業」を初めて開催し、その一環で訪問。ほ場や集出荷場の見学・生産者との交流などを通して将来的に農業経営を希望する若者の見聞を広め、農業の持続的発展と後継者育成につなげることが目的です。

参加した学生は「機械だけに頼らず、キュウリ一本一本を人の手で見ていて品質へのこだわりを感じた」「集出荷場が大きく、大きなスケールで生産・出荷していることが分かった」と話しました。

2 ミートプロこうち カラス撃退レーザー導入 手持ち式で手軽に対策



レーザーを照射する澤田社長

手持ち式レーザーポインター

食肉処理施設「ミートプロこうち」は、「カラス撃退レーザーポインター」を昨年3月から導入しています。手持ち式で手軽に使うことができ、明所でも100mほど先に光が到達するため、高所にも効果的。カラスが苦手とする緑色のレーザーは牛やヒトの目への負担が小さく、手軽に扱うことができます。

と畜から販売まで総合的に運営を行う同施設は、カラスによる建物や社員の自家用車への糞尿被害や食肉搬出時の接近、また近隣住民へのイメージ低下など被害を受けていました。導入前は手で大きな音を立てるなどして追い払っていましたが、澤田章史社長がレーザーの存在を知り導入。

澤田社長は「導入前と比べるとカラス被害が大きく減った。高知県は森林面積が多く、畜産関係に限らず鳥獣被害が多発している。特に果樹などはカラスからの被害を聞いているので、導入をお勧めしたい」と話しました。

3 高知地区 盟友同士で意見交換 南国市本部と交流



ハウスを見学する参加者ら

青壮年部春野本部は1月14日、南国市本部と交流会を開きました。両組織の取り組みや課題を共有し、親交を深めることが目的です。南国市本部の青壮年部員7人とJA職員3人が参加し、集出荷場の見学、現地検討会を行いました。

南国市本部の中田安則部長は「集出荷設備の規模も大きく、ほ場環境も整って努力が伝わる」と話しました。大庭啓太郎部長は「盟友同士で協力し知恵を出し合い、共通する課題に向けて取り組んでいきたい」と意気込みを話しました。

4 JAグループ高知 燃油高騰対策へ支援要請



要請書を手渡す久岡会長④と松村部長⑤

JA高知中央会、高知県農協協議会は1月22日、相次ぐ燃油の高騰に対し、知事へ支援を求める緊急要請として同会議の久岡会長が高知県庁を訪れ、県農業振興部の松村部長に要請書を手渡しました。

高知県は施設園芸が盛んであることから、燃油価格の高騰が特に生産者の営農継続に大きな影響を与えていることを受け、国の令和6年度補正予算で決定した「重点支援地方交付金」の推奨事業メニューを活用し、燃油価格高騰に対して農業者の負担軽減につながる施策を講じるよう要請。久岡会長は「燃油価格は直近になって大きく値上がりし、農家の経営を圧迫している。農家、JAでも自助、共助による努力をしているが、限界があるため公助による支援が必要。栽培が継続できるように県として後押しをしてほしい」と訴えました。

5 本部 対話でより良い農業現場へ



意見交換する青壮年連盟とフレミズ部会代表者ら④と議員ら⑤

高知県農協青壮年連盟とJA高知女性組織協議会フレシユミズ部会は1月16日、自由民主党高知県議会議員との意見交換会を開きました。県内農業現場の現状、若手青年組織、女性組織の生の声を県政に届け、それぞれの立場から活動意義や想いを伝え相互理解を深めることが目的です。連盟・部会の代表者らとJA関係者26人が参加しました。

同連盟の村田紘盟委員長は「高知県の農業を良い方向へ進めるため、行政の力も貸していただきながら共に進んでいきたい」と話しました。

6 JAグループ高知 県の産業を振興 県農商工連携協議会定例会



定例会へ出席した濱田知事（前列中央左）と関係者ら

JAグループ高知や県内の主要な農商工団体・大学などで構成する高知県農商工連携協議会は1月15日、令和6年度定例会を開きました。高知県の農業と商工業の振興を図ることが目的です。

定例会では「TOSACHA茶りティーポトル」「仁淀川レストラン」「SUPER LOCAL SHOP」とささきの進捗状況などについて報告されました。濱田省「知事は「高知県の産業振興に関して、関係団体には多大なるご支援をいただいている。今後も連携を強化して支援をお願いしたい」と話しました。

高知農業改良普及所より

農福連携の取り組みについて

令和6年5月に施行された、改正食料・農業・農村基本法では、基本的施策として障害者等が農業活動（農福連携）を行うための環境整備を進め、地域農業の振興を図ることが位置づけられました。

1. 農福連携とは

農福連携とは、「農業と福祉が連携し、障害者の農業分野での活躍を通じて、農業経営の発展とともに、障害者の自信や生きがいを創出し、社会参画を実現する取り組み（農福連携等推進ビジョンより）」のことで、「農業」と「福祉」がつながることで、様々なメリットが生まれることが期待できます（図1）。

また、農福連携は、農業分野において喫緊の課題である労働力の確保につながることを期待される取り組みであり、一方で、障害者にとっても、農業を通じた働く場の確保や賃金・工賃の向上に加え、地域との交流の促進等の生活の質の向上が期待されています。

2. 農福連携の2つのタイプについて

①作業受委託型

- ・ 農業者等が就労継続支援事業所※に、農作業や野菜の選別・袋詰め等を委託するタイプ。
- ・ 障害のある人への作業指示は、事業所の支援員が行います。

※就労継続支援事業所とは、企業等で働くことが難しい障害のある人が、事業所での仕事その他の活動を通じて、能力を伸ばすために必要な訓練を行う所のことです。

②直接雇用型

- ・ 農家・農業法人等が障害のある人等を雇用し、農業に従事してもらうタイプ。
- ・ 農業者は作業指示や労務管理等を全て自らの責任で行います。

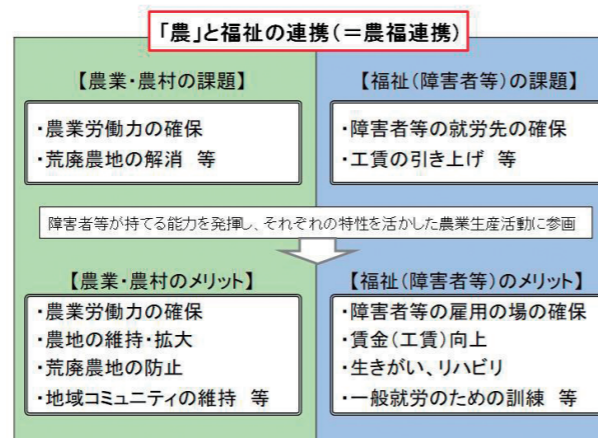
初めて農福連携に取り組む農業者の方には、福祉に関する知識が十分でなくても取り組みやすい①の作業受委託型をお勧めします。

3. 農福連携の現状と課題

農福連携の推進に当たっては、農福連携等推進ビジョンに掲げられた「知られていない」「踏み出しにくい」「広がっていかない」といった課題の解決に引き続き取り組む必要があるほか、地域ごとの状況（農繁閉期に農業と福祉の需給にギャップが生じる等）に応じたマッチングが必要であるといった課題も明らかになっています。

まずは、農業側、福祉側双方がお互いのことを知り、農福連携について理解することから始める必要があります。高知市農福連携研究会では、農業者に対する農福連携の啓発活動も行っていますので、興味を持たれた方はお気軽にお問合せください。

図1 農福連携のイメージ



農林水産省作成資料より

問い合わせ先：中央西農業振興センター高知農業改良普及所
(TEL.088-861-0711) (FAX.088-861-0660)



春野営農経済センターからのお知らせ

農業者年金で安心して豊かな老後を

3つの要件を
満たせばどなたでも
加入できます。

60歳未満

国民年金
第1号
被保険者

年間
60日以上
農業に従事

※年間60日以上農業に従事する60歳以上65歳未満の国民年金の任意加入者も加入できます。

●生きている間受け取れる終身年金

80歳前に亡くなった場合は、80歳到達までに受け取れるはずだった農業者老齢年金の相当額が死亡一時金として遺族に支給されます。

●保険料の額を自分で選択 いつでも変更OK

月額2万円～6万7千円の間で、千円単位で自由に選択。いつでも見直しが可能です。

●節税効果 保険料は全額社会保険料控除の対象

同一生計の家族の保険料を全額社会保険料控除とすることができます。受け取る年金にも公的年金控除が適用されます。

●少子高齢化でも安心の確定拠出型年金

自分が納めた保険料と運用益を、将来自分がもらう年金の資源として積み立てていきます。

●39歳以下の担い手は、要件を満たせば保険料の補助が受けられる

加入資格に加え、以下の条件を満たす方は保険料の国庫補助が受けられる政策支援加入があります。

①39歳までに加入 ②農業所得が900万円以下 ③認定農業者で青色申告者など

事務経費は国が負担しているため、払った保険料の全額が運用されます。

詳しくは… 農業者年金基金 検索

年金シミュレーター
あなたの年金額を
試算できます。



お問い合わせ先：JA高知県 春野営農経済センター
営農指導課 TEL 088-894-5660

農作業安全

春になり水田の準備など農業機械を使う場面が多くなります。近年農業機械作業に係る事故の内約44%はトラクターによるものとなっておりますので、今一度安全に配慮して作業を行って下さい。

<トラクターから降りる時、後ろ向きに、着地場所の確認>

安易に考えられがちですが、トラクターの乗降時の事故がトラクター事故の大きな割合を占めています。特に降車時に重傷事故が多く発生しています。

降車する際は、必ず後ろ向きに、把持棒を持って降車する、が基本です。

さらに、着地する場所に石ころがあったり、溝等があり、そこにつまずいて転倒する事故も起きています。



降車時
①ステップが滑らないか、
②着地の場所の安全確認

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

地域の特産品を生かして若い世代がいろいろ挑戦している姿は嬉しくなります。農業は捨てたもんじゃないぜよ！

(高知市高須 45歳)

▼1月号の特集1では、「地域を輝かす高校生への挑戦！」で、地域資源を活用し地域振興に向けた活動を行う4つの高校をご紹介します。県内各地の農産物を高知の学生が発信してくれることは、JAとしてもうれしい限りです。

(春野町弘岡上 56歳)

いろいろな人を紹介してくれるので、とても楽しみに見えています。

(春野町西分 82歳)

▼「高知地区からこんにちは」では、御量の漁協職員さんを取材させていただきました。同じ協同組合でも、行っている業務が全然違って、お話がとても新鮮で取材が楽しかったです。これからも地域の方々を紹介していきます！

三山ひろしさんの明るさと歌唱力で、もともと高知の野菜をアピールしてほしいですね！

(高知市潮見台 68歳)

▼特集2では、今年1月から放送を開始した、三山ひろしさんとコラボしたJAグループ高知のテレビ番組「三山ひろしの『あぐりの応援歌』」の撮影風景などをご紹介します。3月放送は高知地区の「二ラ」です。JAグループ高知のYouTubeチャンネルにもアップしますので、ぜひご覧ください。

今月号のお料理の写真、とてもよかったです。

(春野町西分 70歳)

▼「うちんくの台所」では、女性部春野地区が2品紹介してくれました。嬉しいご感想、ありがとうございます。角度や光の当たり方などを確認しながら何枚も撮影した甲斐があります。

4月から農業に取り組みます。

(高知市鴨部 60歳)

▼還暦から始める農業：素敵ですね！家庭菜園規模なのか、大規模で本格的に取り組むのか気になりますね。どんなものが収穫できたか、またお便りでご連絡いただけたら嬉しいです。

農業に興味があり、将来は太陽の下で自然と触れ合える仕事をしたいと思っています。若い生産者たちのコメントや経営の実際などを知ることができて面白かったです。

(高知市大津乙 25歳)

▼毎月「輝け！新農人」などで紹介する若手生産者さんたちのお話が、少しでも参考になればと思います。近い将来、直販所「春の里」や「とさのさと」に出荷できるようになったときは、ぜひ「高知地区からこんにちは」でご出演していただきたいです！



【連絡先一覧表】

高知地区（春野町）

企画組合員課 894-3033

はるちゃんのアイス屋 894-2760

春野支所

信用課 894-2203

共済課 894-3304

共済普及課 894-3309

他組織・子会社等

高知中央サービスセンター（事故処理） 821-6015

（株）JAエナジーこうち 春野給油所 828-6212

ルミエールはるの（フリーダイヤル24時間） 0800-200-5911

春野農機センター 894-5290

春野営農経済センター

購買課 828-6111

Aコープはるの直販所「春の里」 894-2225

重油係 828-6115

ビニール加工場 894-4264

経済渉外課 828-6111

JAグリーンはるの店 828-6161

販売課 894-2222

営農指導課 894-5660